

平成27年度施政に関する基本方針

賑わいと歴史ある迎都 泉佐野

ひとを育みひとにやさしく

問合先 政策推進課

施政方針は抜粋したものです。
全文はホームページ (http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/koushitsu/seisaku/menu/sei_hosin/) をご覧ください。

4月実施の市長選挙において、再選した千代松市長は、6月11日の定例市議会で、平成27年度の施政に関する基本方針を表明しました。



我が国の経済は、安倍内閣の経済財政政策により、景気は緩やかな回復傾向にあるといわれておりますが、地方の隅々まで、国民が景気回復を実感するまでには至っていないのが現状であります。

また、人口減少は今後加速度的に進むことが予想され、地方ほどその進行は深刻であります。この直面する人口減少社会を克服するため、東京一極集中を是正し、若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、地域の特性に即した地域課題を解決するという視点のもと、国では「地方創生」に向けた取組を進めており、昨年12月には日本の人口の現状と将来の姿、今後取り組むべき方向性を示した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。その中で、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立により、国と地方が一体となって地方創生に取り組むため、全自治体に対して「地方版総合戦略」の策定を要請しており、本市もその策定をはじめ、この「地方創生」の流れに乗り遅れることなく、積極的に取り組んでまいり所存であります。

本市におきましては、財政状況としまして、財政健全化団体から脱却したものの、依然として多額の公債費負担が継続し、「実質公債費比率」は今後数年間でピークを迎えることや社会保障費の増加、公共施設の老朽化など、今後も経常経費の増加が見込まれることから、引き締めた行財政運営に取り組んでいく必要があります。

こうしたことから、今後の財政運営は、3月に策定しました「中期財政計画」に基づき進めていくこととし、歳出面では限りある財源を最大限に効率的かつ効果的に活用するための事業の選択と集中を進め、また歳入面では市税収入の確保をはじめ、市有財産の有効活用や創意工夫により、新たな財源の創出に引き続き努めるとともに、債権の適正管理にも努めてまいります。この「中期財政計画」と「地方創生」を両立しながら、今後とも市民サービスの低下を招くことなく、市民ニーズを反映した行政施策などに対応できるよう、市民のみなさまのご理解、ご協力を賜りながら、一生懸命取り組んでまいります。

市民と協働し、すべてのひとが輝くまちづくり

【人権】

- 人権に関する市民意識調査を実施し、効果的な人権啓発の方策を図ります。
- 個人情報の不正取得の防止策として、「本人通知制度」の周知に努めます。

【男女共同参画】

- 「泉佐野市男女共同参画推進条例（仮称）」の制定に向けて取り組みます。
- 女性の社会活躍を支援する取組を進めます。

【平和】

- 命の尊さや平和の大切さを訴え、よりよい社会環境の形成に取り組めます。
- 戦後70年目を迎え、改めて戦争の悲惨さと平和の大切さの発信に努めます。

【国際化】

- モンゴル国トゥブ県とマラソン選手や中学生の受け入れなど、さらなる国際交流を進めます。また、寄贈されるゲル（遊牧民の移動式住居）を有効に活用します。
- オーストラリア・サンシャインコースト市と青少年海外派遣研修事業をはじめ、マラソン選手の相互派遣や文化交流事業を実施します。

【情報・通信】

- 自治体クラウドへの移行に向けて取組を進めます。
- わかりやすい情報を「広報いずみさの」やホームページなどを通じて積極的に発信します。また、駅前での広報活動を実施します。

【参画と協働】

- 町会加入促進の取組として、町会連合会が実施予定の活動促進袋の配付事業を支援します。
- タウンミーティングや市政モニター制度により、市民の意見を市政に反映します。
- 市民通報システムにより、市民と行政との迅速・正確な情報伝達に努めます。
- 特定非営利活動法人などの市民活動を積極的に推進します。

▼海外のマラソン選手の受け入れ



▲タウンミーティング

安全で、ひとと地球にやさしいまちづくり

【消防・防災】

- 南海トラフ巨大地震の被害想定を踏まえた「地域防災計画」の修正を行い、危機管理体制の充実を図ります。
- 防災行政無線の整備工事に着手します。
- 「地域の絆づくり登録制度」の啓発に努め、災害時に支援を要する人たちへの支援体制づくりを進めます。
- 自主防災組織の結成率を高めます。また、女性消防団員の採用など消防団の充実強化、地域の防災力の向上を図ります。
- 「市民防災の日」の制定や、大防災訓練の準備を進めます。

【地域安全】

- LED防犯灯設置の支援や駅周辺に設置した防犯カメラの運用により、安全な市民生活の確保に努めます。
- 65歳以上の高齢者への自転車ヘルメットの配布など、交通事故の撲滅に向けて、効果的な交通安全教育を推進します。



▲女性消防団員

▼イヌナキンが消費者教育推進大使に委嘱



【環境衛生・環境保全】

- 東佐野駅前に公衆トイレの設置に向けた検討を進めます。
- 「ごみのポイ捨て」などの不法投棄に対する早期対応に努めます。
- 犬の放置フン対策は、スマートフォンなどによる通報アプリの導入などを検討します。
- 道路や公園にて、花木の設置と維持管理の経費の一部を助成する「(仮称)花とみどりのボランティア活動」制度の創設に向け、検討を進めます。
- 家庭用燃料電池コージェネレーションシステム設置費用に対する補助制度を実施し、温室効果ガスの排出抑制に努めます。
- 一般財団法人泉佐野電力の安定した運営管理に努めます。

【廃棄物処理】

- 「一般廃棄物（ごみ）処理基本計画」に基づき、廃棄物のさらなる削減と資源循環の推進に努めます。
- 稼働後30年目の廃棄物中間処理施設は、効率的な運用と維持管理に努め、40年以上の稼働を図りつつ、新施設の建設に向けて検討を進めます。

【消費生活】

- 消費者行政推進交付金を活用し、消費生活センター機能の充実および啓発の強化を図ります。
- 未成年者の消費者被害を未然に防ぐため、消費者教育推進大使に委嘱された「イヌナキン」を活用した消費者教育の推進を図ります。

歴史・文化を大切にし、ひとを豊かに育むまちづくり

【学校教育】

- 「教育振興基本計画」を策定し、それに基づく取組を進めます。
- 伝統や文化に関する教育や道徳教育の教科化に向けた研究を進めます。
- 必修となった武道の専門講師の配置などにより、中学生の体力向上および生徒指導の充実を図ります。
- 学力向上の取組として「算数サポート事業」や「夏休みの短縮」などの新たな対策を講じます。
- ICT活用教育推進事業により情報活用能力の向上について研究します。
- いじめ問題や不登校問題の解決に向け、関係機関との連携を密にした総合的な支援体制を確立します。
- 地域と一体となった子どもたちの安全確保に努め、通学路への防犯カメラの設置を順次進めます。
- 小規模校や大規模校の解消に向け、小中学校の通学区域の見直しに取り組みます。
- 学校施設の整備は、校舎内の改修、机・椅子の更新やトイレの洋式化、エレベーターの設置などを年次的に行い、教育環境の充実を図ります。
- 乳・卵の食物アレルギーを持つ児童生徒に対し、給食のごはんなどを食べやすくする補助食品を提供します。



【生涯学習・スポーツ】

- 図書館、生涯学習センターおよび公民館への指定管理者制度導入に向けて取り組みます。
- 日本体育大学との連携、スポーツ大使の活用などにより、スポーツへの関心を高め、地域スポーツの振興、トップアスリートの育成につながるよう取り組みます。
- 市民総合体育館の耐震改修を行い、市民が安全にスポーツに親しめる環境づくりに取り組みます。
- 稲倉青少年野外活動センターは、指定管理者と連携しながら、外国人観光客を対象にインバウンド事業など、さらなる利用促進に取り組みます。

【歴史・文化】

- 国史跡「日根荘遺跡」の適切な保存活用と整備に向けた計画策定を進めます。
- 重要文化的景観に選定された「日根荘大木の農村景観」を発信するため、「コスモス園」の開園などを活用した情報提供を進めます。
- 国の重要文化財「奥家住宅」の適切な保存と活用を図るため、「奥家住宅再生プロジェクト」を進めます。また、市指定文化財の「旧新川家住宅」では、高齢者の方々が集える場を創出します。
- 「いずみさの検定」を実施します。
- 総合文化センター施設のセールアンドリースバック方式の導入について検討を進めます。

心地よく、くつろぎを感じるまちづくり

【道路・交通】

- 主要道路橋は、「長寿命化修繕計画」に基づき順次改修します。
- 都市計画道路泉佐野土丸線は、都市計画変更を行い、早期事業実施に向けて関係機関と協議します。
- コミュニティバスは無料化とし、新たに観光ポイントなどを周遊するルートを試行するなど、利便性を図ります。

【公園・緑地】

- 公園遊具の老朽化に伴う修繕などを行います。
- 防災公園は、樫井酪農団地用地を活用した整備に向けて、関係機関と協議を進めます。

【上下水道】

- 老朽管を計画的に更新し、震災等の災害に強い水道施設の構築をめざします。また、配水幹線のバックアップ機能の強化を図ります。
- 「水道水質検査計画」に基づき、安心して飲める水の供給に努め、「泉佐野のおいしい水」を広めます。
- 債権管理の徹底と滞納整理の強化など収入確保に努めます。
- 市内の浸水区域の解消を図るため、雨水整備を重点的に実施します。
- 下水道普及率の向上を図るため、汚水整備を効率的に進めます。
- 「下水道事業経営健全化計画」に基づき、確実な健全経営に努めます。

【住宅】

- 市営住宅は、建て替えや集約化などの整備を推進し、適切な維持管理を行います。
- 住宅家賃は、収納率の向上に努めます。
- 本市への定住・移住などを促進するため、「住宅総合助成事業」や「空き家登録バンク制度」を実施します。
- 耐震化では、従来の耐震診断、耐震設計、耐震改修に対する助成に加え、耐震改修と同時施工するリフォーム工事や耐震性のない木造住宅の除却工事に対し助成します。

【市街地整備】

- 熊取駅西地区の良好な市街地の形成を大阪府や熊取町と連携しながら進めます。
- 民間活力を生かしたまちづくりを促進します。

【景観】

- 景観行政団体として、景観の形成に努めます。
- 「日根荘大木の農村景観」を通じて、地域の活性化につながる取組を検討します。

▼コミュニティバス



▲日根荘大木の農村景観

活力をうみ、賑わいのあるまちづくり

【産業】

- 地場野菜の消費拡大などを図り、「農協祭」「タコカーニバル」など地産地消活動の支援に努めます。
- ため池の防災・減災対策事業により、ため池などを整備します。
- 「つくり育てる漁業」を推進し、地場水産物の消費拡大や「泉だこ」のようなブランド価値を高める普及活動を支援します。
- 「海鮮焼市場」の集客力を高めるため、施設の屋根の設置を進めます。
- 新たな雇用創出のため、国からの創業支援事業計画認定による創業希望者に対し必要な支援を図ります。

▼海鮮焼市場



【観光】

- 観光交流プラザ「りんくうまち処」および観光情報プラザ「閑空まち処」を拠点として、訪日外国人旅行者の満足度向上およびインバウンド観光の推進に取り組みます。



りんくうまち処▶

- 統合型観光リゾート（IR）の誘致に向け、必要な取組を行います。
- 「イヌナキン」を活用したSNSなどによる本市の情報発信に努め、地域伝承神話・民話をモチーフにした泉佐野創生神楽の創作に取り組みます。

【雇用・労働】

- 障害者などの就職困難者等に対し、多様化するニーズにあった就労支援を図ります。
- 「地域雇用創造バンク」の設置や就労支援フェアを実施します。

やさしさとふれあいのあるまちづくり

【地域福祉】

- 「第2次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」に沿った共助機能を推進するため、地域福祉セーフティネットの構築に努めます。
- コミュニティソーシャルワーカーの活用などにより、地域福祉の充実に取り組みます。

【高齢者福祉】

- ひとり暮らし高齢者などが、安心して生活できるよう地域での支え合いを推進します。
- 子どもを安心して産み育てられ、高齢者が安心して暮らせる住環境を創るため、三世同居等支援事業を実施します。

【児童福祉】

- 「子ども・子育て支援事業計画」、「次世代育成支援行動計画」の遂行に努めます。
- こども医療費助成事業の通院分の対象者を小学4年生年度末までに拡大します。
- さくら、のぞみ、はるかこども園のより良い教育・保育に努めます。
- 留守家庭児童会は、運営業務を委託化し、開設時間の延長や学習支援など内容の充実に努めます。

【障害者福祉】

- 障害者計画である「いずみさの あいあいプラン」の着実な推進を図ります。
- 障害のある人が自立した生活を送れるよう、地域生活支援事業など効果的な事業の推進に努めます。

【健康・医療】

- 「泉佐野市健康増進計画」に基づき、「健康寿命の延伸」などを達成するための施策に取り組み、「健康都市宣言」することをめざします。
- 妊産婦健診の府内最高水準の公費負担を維持し、不妊治療支援事業にて検査や治療に要する費用の一部を助成します。
- りんくう総合医療センターが、地域住民のための医療サービスの向上をめざし、公的医療を安定的に提供できるよう支援します。

【社会保険等】

- 「第6期介護保険事業計画及び高齢者保健福祉計画」に基づき、介護保険事業の適正な運営に努めます。
- 国民健康保険事業は、医療費の伸びの鈍化や国の交付金の増などを反映して、保険料の引き下げを行い、負担軽減を図ります。
- 「健康マイレージ制度」の活用など、特定健康診査の受診率向上と特定保健指導の利用率向上に向け、被保険者の健康の保持と増進を図ります。
- 「生活困窮者自立支援制度」の円滑な運営に努めます。



▲健康イベント

▼りんくう総合医療センター

